

◆地域インフォーマルサポート創造セミナー開催

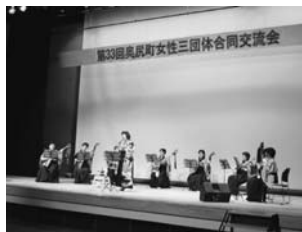
地域での困りごとなどを話し合いました…。

一般社団法人北海道セーフティネット協議会及びNPO法人ウェルアナザーデザイン主催の「地域インフォーマルサポート創造セミナー」が1月30日(金)海洋研修センターで開催され、福祉に関する地域の中での困りごとなどについて話し合いました。

身近な問題である高齢者世帯の雪かきや電球交換などちょっとした困りごとに対し、活発な意見や提案が寄せられ、コーディネーターからは、関係機関への働きかけを行うなど、ひとつでも実現できるような地域にしてほしいとの助言をいただきました。



▲ 保健師による講演会



▲ 商工女性部による『歌とスコープ三味線』

▼ 漁協女性部による踊り

▼ 女連協による踊り



◆女性団体合同交流会を開催

交流会を通じ地域の絆が深まりました…。

奥尻町女性団体連絡協議会では、2月1日(日)に今回で33回目の開催となる『女性団体合同交流会』を開催しました。

午前は保健師による医療費の仕組みや、いつまでも元気に現役で暮らしていくための講演があり、自分たちの生活に関わる内容に熱心に聞き入っていました。

午後からは3団体による芸能発表が披露され、各団体との交流を深め、笑顔あふれる楽しい時間を過ごされていました。

◆奥尻地区「工藤ビル」が避難場所として指定されました

災害発生時、迅速な避難が行えるよう日頃から備えましょう。

2月6日(金)、奥尻町と㈱工藤組(代表取締役 工藤 純)との間で、災害時における避難ビル(工藤ビル)使用に関する協定を締結しました。

この協定は、津波など災害発生時に周辺地域で最も安全な建築物と認識されている「工藤ビル」の一部(4階がメインで状況次第で3階も開放。収容人数は約200名。)を一時避難先として利用できるもので、地域住民からの強い要望とビル所有者のご理解とご協力により実現したものです。

また、奥尻地区には従来より避難所として旧奥尻小学校がありますが、災害の種類や規模によっては直ちに避難を必要とする場合も想定されるため、お年寄りなど避難に時間を要する周辺地域の方にとっては近くに避難ビルがあることで暮らしの不安が解消されることになりました。



▲ 避難場所となった工藤ビル